



# くすりと健康

● 神戸市薬剤師会 ●

## 検査薬について

体調の不良や変化を感じたとき、市販の検査薬で調べることができれば、早期発見、早期治療につなげることが可能になります。

現在市販されている検査薬は、尿の成分を測定するもので、尿中の糖、タンパクの有無と量を測定するものや、尿中のホルモンを測定して妊娠を判定するもの、排卵日を推測するものがあります。

尿は腎臓で作られ、体の中から血液によって運ばれた不要な物質と余分な水とともに体外に排出されます。体のどこかに異常があれば、排せつされてはならない物質が尿中に混じって検出されたり、体にとって不要な物質が排出されなかったりするので、その成分の性質や量を調べるのが尿検査です。

検査に使う尿は、朝、起床時のもの

です。出始めは雑菌などが混じるので途中のものを採り、すぐに検査紙を浸して検査してください。

### 【尿糖検査薬】

尿糖の検査は、糖尿病を診断するのに必要で、尿中に糖が出ているかどうかの量の量が出ているかを測定することができまます。これで陽性の反応があれば糖尿病が疑われますので、医師の診察を受けてください。

この検査は、ビタミンC剤を飲んでいると、正確な測定ができなくなることがありますので、注意が必要です。

### 【尿タンパク検査薬】

尿タンパクの検査は、腎炎、腎硬化症、ネフローゼ症候群、尿路感染症などの異常を調べることができます。ただ、腎臓病以外でもタンパク尿が出る場合がありますので、必ず医師の診断を受けるようにしましょう。

また、尿糖と尿タンパクを同時に測定できる検査薬もあります。

### 【妊娠検査薬】

女性が妊娠すると、尿中にヒト絨毛性腺刺激ホルモンが排せつされます。このため、このホルモンが検出されることで、妊娠を判定することができまます。

この検査判定は、生理の予定日の約1週間目くらいから行うことができます。

### 【排卵日検査薬】

卵子は24時間と短い寿命なので、排卵日を推定することができれば受精の確立を高めることができます。

血中の卵胞ホルモンは、卵胞が成熟すると増加し、黄体化ホルモンが放出されるとともに排卵されますので、血中の黄体ホルモンの量を測定することで排卵日を推測します。

これらの検査薬は、自分自身の健康状態を知るためのものですので、もし異常が見つければ、できるだけ早く医師に相談することが大切です。